

「協力隊として任命をうけて一ヶ月！」



天龍村の地域おこし協力隊として活動を開始してから、約一ヶ月が経ちました。最初は、自己紹介もかねて「あいさつまわり」を中心させていただきました。また、農林業公社から畑を貸してもらったり今まで、船と海のことができ、その畑を耕して野菜を作っています。高校のときから今までたくさんの素人ですが、村の方々から色々勉強してこなかつたので、野菜作りはまたたく間に上手になりました。

播いたにんじんの種が発芽しました。生まれて初めて野菜の種をまいたので、発芽したときは感動しました！



文：治部 太一

「あいさつまわり」をしていると、元気よく畠仕事をやっている方が思っているほど多く、パワフルな方が天龍村には多いなと感じました。また獲れたての新鮮な野菜をおすそ分けしていただき、「スーパーに並んでいる野菜に比べ格段に美味しい、こうした野菜を、余らして捨てるところなく、天龍村のなかで流通させて、「もつとたくさんの人たちに食べてもらえた良いいのになあ」と思いました。

(記 大石 航平)

四月に採用されてあつという間に一ヶ月が過ぎ、まもなく梅雨入りというニュースが流れきました。一日一日が早く感じるようになって来ましたが、二〇代の頃、職場の上司に「時間は誰にでも平等である反面、どう使うかはその人次第」という事を機会ある毎に聞かされました。一日をどう過ごし、何を学ぶか、四〇代後半に差し掛かり、その言葉の意味が理解できるようになりました。経験豊かな村の方々から色々なことを教えていただきながら、村の方々と一緒に天龍村を盛り上げていきたいと思います！

初めてで新鮮なことが多く、毎日学ぶことがありますのが、経験豊かな村の方々から色々なことを教えていただきながら、村の方々と一緒に天龍村を盛り上げていきたいと思いました。

私の活動の柱の一つに空き家対策（片付け・整備等）があります。現在、全国的に少子高齢化や家屋の相続放棄などにより空き家が増加しています。空き家の問題点として、衛生環境面や火災による近隣住宅への延焼、犯罪拠点に使用される恐れなどの社会問題が挙げられます。ここ天龍村でも村内に多数の空き家、廃屋が点在しておりますが、これらをセルフリノベーションなどして活用することができれば、週末移住や二地域居住を希望する人達に対してメッセージになるのではと考えています。コロナ禍によつて人々の働き方や生き方、住み方が大きく方向転換したことは言うまでもありませんが、国土交通省においても地方振興の一環として二地域居住を推進する動きが出ているところです。今後、現在行つてゐる片付け、整備の進捗状況などについて情報発信していく予定です。終わりになりますが、今日も私が住んでゐる家から見る山並の風景は抜群です。

## まつちゃんのホウレンソウ

報告者：松川友哉

Vol. 97  
2021年5月27日  
編集者：松川 友哉



今月もありがとうございます！前掛けをつくっていただきました！



キャンプ場のテラスで焼肉



じゅんとこさんでスキンフェードに



キャンプ場川遊び！？

●ご相談 村内の方にもっと利用いただけるようなキャンプ場を目指していきたいと思いますが： 良い知恵があれば、こそっと教えてください。

●ご報告 おかげさまで、四月二十日に和知野川キャンプ場をオープンすることができます。五月の連休には、沢山のお客様にお越しいただきました。ありがとうございます！

●ご連絡 村内の集落をめぐりたいと考えています。お声掛けさせていただきますので、宜しくお願いします！



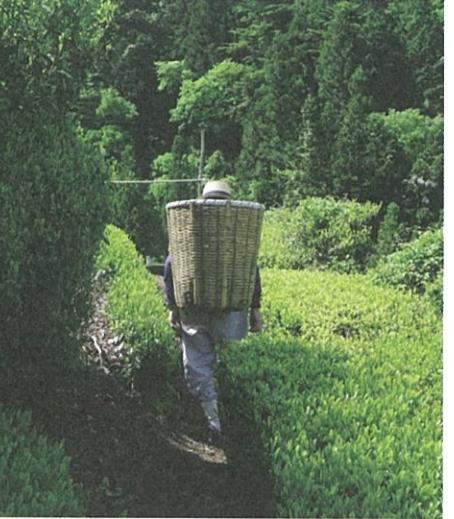
文：前田美沙

今年も茶摘みの季節がやつて参りました。この記事を書いているのは5月18日、中井侍地区的茶摘みはピークを過ぎましたが、今は平岡地区が茶摘み真っただ中でしようか。

今年も私は中井侍製茶工場に勤務させて頂いています。製茶工場に勤めて3年目になるのですが、今年はとにかくとても濃い日々でした。3年目になつて、やつと反省点や改善点、製茶工場や中井侍銘茶の課題が見えてきましたが、色々あって製茶の難しさと奥深さに途中で何度も心が折れそうになつたりしてしました。偉そうに書いてますが、色々あって転んでもただでは起きない性格なので、今は楽しみに変わっています。

来年、再来年、中井侍銘茶はもっと美味しい味になれると思っています。うならないといけないと思っています。今から来年の製茶が楽しみでなりません。茶摘みを終えられた皆さん、本当におつかれさまでした。今後ともよろしくお願ひします！

## まえたの天龍山暮らし～入門～



### 五月からの活動

（文・篠田 大樹）

丁度、八十八夜の五月一日から茶摘みが始まりました。去年より五日早い開始日となりました。茶摘み開始二日前から天気も悪く、冷え込む日も多かったためか、葉の成長が不揃いで収量は去年より落ちてしましましたが五日間で六百四十一キロ（生葉）収穫することができました。

連日十数名以上の方々に茶摘みをしていただき、特に最終日は急遽遅らせて九日に若手のみで行つたにも関わらず、子供含めて二十五名ほどの方々が参加してくれました。ありがとうございました！

丸一年一人で管理作業をして初めての茶摘みでしたがあれど、無事終わってほつとしています。去年の七月には土砂崩れもありました。茶摘みが始まっています。また、これから複数あると思われるお茶の在来種の分類もしてみたいと思っています。改めて御礼申し上げます。

新茶は幸先よくご購入頂けており、茶摘み体験ツアーも続々と申し込みいただいています。また、これから複数あると思われるお茶の在来種の分類もしてみたいと思っています。改めて御礼申し上げます。

茶摘みが終わってからは休む間も無く、ていざなすの定植の準備が始めています。ついでなすにお茶に五月から忙しい日々が続きますが頑張つてきたいと思います。

### 五月からの活動

（文・篠田 大樹）

## 素晴らしい暮らし

あれよあれよと、もう5月半ばです。やりたいことが沢山ありますので、困ってしまいます。特に季節は待つてくれないので、今を逃すと来年になつてしまします。

今年から7アールほどの田んぼで、機械類をあまり使わず、ゴミもなるべく出さないようにお米を作る予定で、今日は苗代に糲をまいてペチペチ上から叩いてトロトロになつた土に埋めていきました。そこで早くも問題発生。想像できる範囲だつたのですが、雨で糲が表面に出でてきました。朝には鳥の足跡が沢山ついていました。あと、またたく意識していかつたのがヒエです。糲はこまめに抜いていければ何とかなると思っていましたのに、糲と見分けがつかないのです。結局ヒエしか残つてなかつた、なんでもあります。話は全く変わりますが、ブルーベリーが実を付けてきました。昨年、初めて果実の状態で食べましたが、思つて保存もでき、冷凍されたままほおばることもできかなりお気に入りです。まだ、あまり多くは収穫できません。

（記 片山 素晴）

## 日々こうしん



春が深まり、外に出ると様々な色に出会えてとても楽しい季節になりました。出掛ける先々あなたと実感していきます。

いしトーで勉はとま違聞るきならたとたこんし日い強『思すうかいやかににここう』てをこさこい。一せろる休つ来前うととをい毎うせう、こ日てな日たる日はか、ら思ここ日とてしひのをもとな感まことに嬉、めいさ人あしといてなせ生ありかてた迎かて初がつもだえついめとた貴くたただのうで重こおらだのござ。経にシ対ま茶摘いま世をるズでたまし話さとんき。とたにせ思になお茶工場ついてここらでたいことも天だなまで、

